

平成21年7月31日

各位

上場会社名 ユニダックス 株式会社
 代表者 代表取締役社長 中尾 博行
 (コード番号 9897)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 松岡 隆則
 (TEL 0422-33-6411)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,800	60	47	27	1.59
今回発表予想(B)	15,050	△28	△18	△16	△0.94
増減額(B-A)	△750	△88	△65	△43	
増減率(%)	△4.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	24,138	671	714	399	23.06

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	33,800	367	335	194	11.31
今回発表予想(B)	33,050	279	270	151	8.72
増減額(B-A)	△750	△88	△65	△43	
増減率(%)	△2.2	△24.0	△19.4	△22.2	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	40,002	731	774	405	23.44

修正の理由

当第1四半期の業績は、当初は日本の大手エレクトロニクスメーカーが、各製品の春・夏向け新モデルを発売する時期であることから、需要・供給ともに回復していくことを期待しておりましたが、世界的な金融危機に端を発した景気後退の影響が予想以上に長引いており、一部製品では供給が逼迫する半導体・電子部品も出てきましたが、全体としては売上回復にはまだ遠い状況であり、売上高が計画に達しませんでした。当社では、固定費削減などにより損益分岐点を下げる方策を採っておりますが、残念ながら売上高減少に伴う営業利益減少により、経常利益、四半期純利益ともに赤字となりました。第2四半期会計期間以降の業績につきましては、新規商談の状況や受注金額の回復傾向から、概ね当初計画通りに推移するものとして、予想売上高を7億50百万円引き下げ、通期では330億50百万円としております。

(注)上記の業績予想は本資料の発表現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

以上